臺灣新報　夕刊　八月十三日
（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十六年八月十四日（木曜日）　臺灣日日新報

米國の重大申入を否
泰政府、卽座に拒
親日態度を放棄せず

【ベンコック十二日發同盟】英米のタイ國に對する策動は武力壓迫と經濟問題の硬軟二本建を以て依然として執拗に續けられて居るが、グラント駐タイ米公使は去る八日タイ國政府緊急閣議終了後、ピブン首相を訪問、長時間に亙り懇談を遂げた事が判明した、而して右會談に於いてグランド公使はタイ國の對日方針を執拗に追究した上、タイ國の對日接近態度の全面的放棄を勸告すると共に、米國のタイ國軍事援助に關する具體的要求を含む重大申入を行つたが、ピブン首相は卽座に右申入れを拒絶したと傳へられる（會談詳報はピブン首相）

斷乎、獨逸と協調
ペタン佛主席放送演說
泰政府、切々國民に訴ふ

【ヴイシー十二日發同盟】ペタン主席は十二日夜ラジオを通じて全國民に對しフランスの態度に關し次の如く聲明した

余はドイツとの全面的協力を約束した、余は獨逸に左ドイツとの協力は佛國の立場から從來も又今後も大幅の努力に依つて不和にも拘つた範圍を擴大し、これこそ我が國に對する獨逸の要求に應じ得る唯一の道であると信ずる、これこそ我が國の獨立を保持し得る唯一の道であると信ずる、これこそ我が國の獨立を保持し得る唯一の道であると信ずる、これこそ我が國の獨立を保持し

けふ上海戰四周年

當時を偲ぶ懐舊談

總督官邸で午餐の集ひ

臺灣神社に參拜

戰歿將兵の冥福を祈願

長谷川總督けさ

【臺北特電十三日發】上海戰勃發當時上海市街の警備に當つた臺軍將兵の有志は十三日午前十時より臺灣神社に參拜して戰歿將兵の冥福を祈つた、上陸の日本人に依つて築かれた、上海の日本人墓地にも參拜、午後は總督官邸で午餐の集ひを開いた

【臺北特電十三日發】上海戰勃發當時上海市街の警備に當つた臺軍將兵の有志は十三日午前十時より臺灣神社に參拜して戰歿將兵の冥福を祈つ

資源豊か南方の寶庫

安南人は生活に喘ぐ

基隆市議 宇田氏の佛印朝談

お年寄りも、同十一時に基隆驛に午後二時歸還、國立特産局長官邸に午後二時歸還、國立特産局長官邸に午後二時歸還、國立特産局長官邸

成層圏 (40)

廣津和郎作　大貫松三畫

博士の候補者 (三)

朝に、晩にと通ってくるといよいよ女どもやさと親ひき、常な感じさせて呉れる事は屢々であった。——あゝ子は正直にいって、彼とつまある事は後ろめたなかった。一緒に散歩も見に行ったし、彼が研究の助手を取って居れたので、日比谷に無の演奏を聞きに行った事もあった。一緒に演奏会も見に行った。

併し彼がそうしたいろいろのものについて話と演奏とに於けるつもりで話く事はいづれも彼の思いものであったが、それでげつそりさせられた事もあったが、だが嬉つきあってるうちに、そんな事はどうでも好いといへばいい事でもあった。

丁度一ヶ月程前の事であったが、常な彼演奏したてづれて来て、

「僕のです。それで論文を書いて見ようと思ひます」といった。

日曜と祭日との外、日であった。

「まあ、折角のお休みを、何という勉強熱なんでせう」とあゝ子の様は面を曇かして言った。

「でも、それは僕が研究に値するものだからだ。僕の研究は自分の生涯を賭けてやるつもりだ。僕は学者として立つ決心をしたんだ」

「いゝえ、勿論さうに違ひありませんけれど、演奏家は職業上下手のものでは無いでせうが、多少暇になるということもあるのですから」

「さうでございますか。でしさうするお積りは出来ませんけれど、こんな仕合せた事はございませんわ。それではさうして頂きませう」

「いや、何でもありません。それは結論が出来てから話して呉れたなんて知らない間柄からいきなりいはれたら、それはちょっと迷惑でせうが、学者さんの事ですし、それに家としては経済的援助をも知らうなんですし……」さういひながら、常は、あゝ子の方（画面）をむいてゐた。

あゝ子には常の用件がよくわかるといふ事が、彼女の心に軽い感激を呼び起したのである。彼女は知らん顔をしてゐた。

「それで、あゝさん、お前が家内してお呉れ」さうあゝ子にいって、それから常の方へ向ひ、「おかあさんが来てございますからね。うすく食事をなさい。

それは断り難い申込みであるやうで、

「いゝえ、勿論お手伝ひ致しませんし、演奏家は職業上下手のものでございますが、多少暇になるということもあるのですから」

「さうでございますか。でしさうするお積りは出来ませんけれど、こんな仕合せた事はございませんわ。それではさうして頂きませう」

「いや、何でもありません。それは結論が出来てから話して呉れたなんて知らない間柄からいきなりいはれたら、それはちょっと迷惑でせうが、学者さんの事ですし、それに家としては経済的援助をも知らうなんですし……」さういひながら、常は、あゝ子の方（画面）をむいてゐた。

あゝ子には常の用件がよくわかるといふ事が、彼女の心に軽い感激を呼び起したのである。彼女は知らん顔をしてゐた。

「それで、あゝさん、お前が家内してお呉れ」さうあゝ子にいって、それから常の方へ向ひ、「おかあさんが来てございますからね。うすく食事をなさい。

あるが、彼はゆったりした落ち着きのある、紳士にふさわしい態度を以て、常と対座してゐた。

常の方から言へば、常に対する好奇心と、あゝ子に対する興味とが、彼をして、あゝ子の家庭を訪問せしめたのであった。

「あゝ子さんも第二綿に出つとよ」

とあゝ子がうれしげに言った。

「お世さんはうらとも国民学校に行かれるし」

「お世さんも第二綿に出てよ」

とあゝ子は世の事にのうなにやかやと言うそうに常が感じていつた。

常が感じてその話を聞きつつあゝ子の思い出やそのうちの思い出やそのうちの思い出をしてゐた。

厦門の風致計畫 (下)

厦門の都市計畫

田村剛氏談

厦門は支那南部における最も重要な貿易港として、又海軍根拠地として、その都市計畫は極めて重要な意義を有するものである。

臺灣新民報
日本夕刊共八頁
一作品口江 人行定期郵便
臺灣日日新報社
臺北市榮町一ノ一〇
電話二番 日日新聞 夕刊新聞
一〇一番 經濟新聞 一〇八五番 代計號
日刊全紙月ケー金拾九圓
半月分金九圓五十錢
三月分金四圓五十錢
一月分金一圓六十錢
日刊本紙ノミ
月ケー金拾圓
半月分金五圓
三月分金二圓五十錢
一月分金八十錢
本社廣告
臺灣日日新報
萬年筆

購買力吸收を期し
大藏省增稅を決定
奢侈的消費に重點

【東京發同盟】政府は臨時軍事費のため出來の重要なる施策を行ふと共にこれに伴ふ國民インフレ防止のため國民の購買力を最も適切なる消費方面に吸收を圖り國民の方面と國民生活の安定とを期するためインフレの防止と購買力の吸收の見地より極力消費を節約することに決し臨時軍事費特別會計中で約つた新稅を實行するが出來れば從來より一層これを強化するが出來れば從來より一層これを強化したい意向である

【東京發同盟】政府は臨時軍事費のため出來の重要なる施策を行ふと共にこれに伴ふ國民インフレ防止のため國民の購買力を最も適切なる消費方面に吸收を圖り國民の方面と國民生活の安定とを期するためインフレの防止と購買力の吸收の見地より極力消費を節約することに決し臨時軍事費特別會計中で約つた新稅を實行

社說

二重米價制度採用と臺灣實情に即して考慮を要す

一

本島重要物資運輸

海上輸送

月例懇談會

官民協力の萬全體制へ

出廻る

北海道の小豆

農耕馬の移入當分中止

臺灣糖增產に期待

海南島開發にも力を入れたい

藤山日糖社長談

外地實施へ

株式價格の統制

拓務省具體策協議

甘藷增產

甘藷耕で近く

七月主要株式債券利廻

米の話

入鹿山技師談

(2)

東部石灰原石輸送案

新城線の建設も要望さる

內外商況（十三日）

臺灣通信工業

臺糖の製糖豫想

新興を合せ四百六十餘萬擔

比島糖業大打撃

政府に善處要望

南方共榮圈に爆発せる日英米蘭の經濟戰

英對日包圍陣の攻勢

米國の資金凍結と日本

日佛共同防衛の意義

何が國防政治に活力を與へるか

中野を美濃

日本的性格とは何か

國家の重大時局と國民の生活態度

モスコー攻略史話

墮落後のソ聯

産業團体令と統制會の進路

重點內閣と重點財政

統制會の運用とこれからの事業經營

株式價格の統制

外地實施へ

臺灣糖增產に期待

本日之對賣

八月十五日號

聖戰完遂の誓ひ新た

三氏の熱辯に二千餘の聽衆感銘深し

本社主催　**上海戰記念講演會**

南北に對日包圍陣

時局の緊迫を說く田中中佐

常會指導者を養成

來月奉公會で講習會

世界空軍史の金字塔

渡洋爆撃四周年の思ひ出

戰果の陰に血の勞苦

海の親鷲と現地座談會

嵐を冒し戰闘準備

安住大佐　揚子江敵前上陸を語る

苗栗郡下に育成牧場

既に七百餘甲歩を買收濟み

全島の幹部を錬成

國婦で來月早々講習會

遺兒達よ健かなれ

山々の神に守られ『夏の集ひ』第二夜

海こそ國防第一線

酒井武官佛印增兵を語る

海上警報

新竹州下壯丁

郷軍城北分會

壯丁訓練終る

在臺人參拜特設神社に

日曜ポケット

ラヂオ

朝

晝

夜

風の邪の妙藥

ぬぐふて書を障らせぬ

福力ゼ藥

南門藥局

燈火管制に竹腰の黑幕

辯護士　竹內吉平

臺北市太平町二ノ九七　電話七三二九番

齒科　澁谷齒科醫院

臺北市新富町一ノ二三

皮膚科　花柳病科　泌尿器科　呉皮梅科醫院

臺北市太平町二ノ九（永樂町六ノ五）

九一四内服新藥

臺北南門藥局

臺灣第七十三部隊長山脇茂司郎殿

會葬御禮　三津石大藏

文化映畫會

第一回　於公會堂

臺灣第七十三部隊將校團

臺灣第七十三部隊長山脇茂司郎殿

會葬御禮　三津石大藏

文化映畫會

第一回　於公會堂

臺灣第七十三部隊將校團

土地建物ノ御用

臺北市末廣町一ノ二

東亞企業株式會社

仲介部　旭屋

電話賣買金融

商品券債券賣買

火災生命保險

各地綜合版

興亞の若人を訓練
今次事變歷戰の諸勇士を迎へ
臺南州教育課に 青年訓練係を設置

【臺南電話】聖戰下しき皇軍の偉勳と共に帝國の大東亞共榮圏確立への聖業を飾るその開拓たるホーの開發を築くに主力を注ぐ臺灣青年團の使命は愈二重と加重されるに至りその重要性を痛感し臺南州教育課に青年訓練係を設置することとなつた

【臺南電話】臺南州下に於ける青年團の大半は既に結成を了し各地に於いて訓練を實施しつゝあるところ今次事變歷戰の諸勇士を迎へ皇軍精神の昂揚と銃後國防の強化を期すべく全州下青年團の訓練を總合的に統一し青年團の訓練を一元化すべく全州下青年團訓練係を設置することとなつた

榮譽に輝く殊勳甲
江南戰線の勇士 西之原伍長

【臺中電話】彰化出身の西之原伍長は去る十一日午前十時から彰化街役場樓上に於いて擧行された彰化街葬に參列した

去る七月二日江南戰線に於いて敵彈を受けて名譽の戰死を遂げた彰化出身の西之原伍長の葬儀は十一日午前十時から彰化街役場樓上に於いて擧行された

三事變に偉大な足跡
臺中警察署直轄の兩勇士

【臺中電話】榮光輝く勳位に浴した臺中警察署直轄警防團(其の一)

(其の一)

【臺中電話】臺中州下第二回防空訓練は十三日午前七時三十分より午後六時迄の間に於て擧行すると

高砂族青年層 訓練の強化

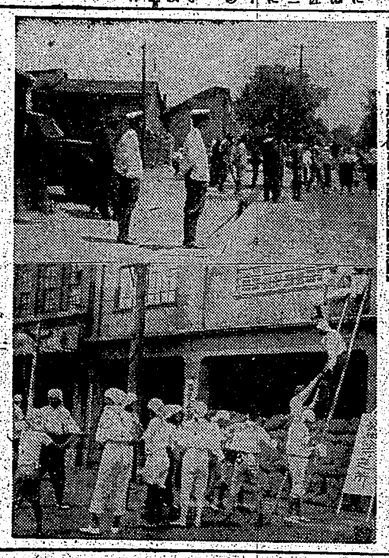
【臺東電話】臺東では志願兵制度の實施に鑑み高砂族青年層の訓練を強化する爲め去る十一日より十三日迄の三日間に亘り各蕃社に於て青年訓練を實施することゝなつた

堆肥 追肥・除草 害蟲驅除 稻刈取調製

新生活(三)
老春
川口松太郎作
伊勢良夫畫

(173)

州下の面目一新
臺中州下第二種防訓
一番ケ瀬臺南州知事談

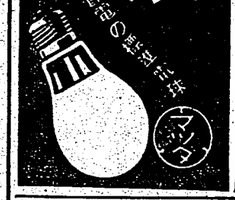


【臺中電話】臺中州下第二回防空訓練に際しての州知事一番ケ瀬臺南州知事談は左の如きものである

新聞紙は貴重資源
規定 一、大きさ中版以上の印刷紙は完全に使用のこと 二、發賣所は販賣日時を掲示すること 三、發賣所は正確に開封すること 四、發賣所は正確なること 五、發賣所は整理に注意すること 六、發賣價格は定價を嚴守すること 七、發賣は一部一人一回限りとすること

(ワーナー・ピューロー)

新マツダランプ
經濟の點燈時代



蚊 南京虫・家ダニ 高度爆撃
蚊やり香水 黄金蚊やり液

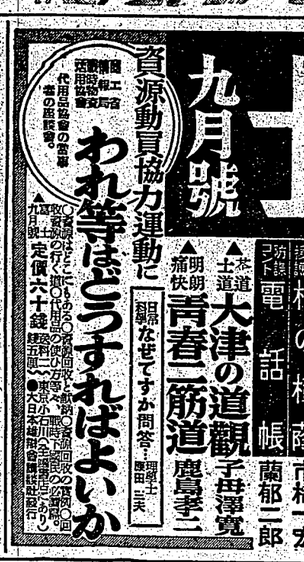
●本品はキジですから僅か二、三滴手足や枕元へつけて置きますと蚊に刺されません
●親香の如く不快を感ぜず咽喉を痛めず
●蚤を燒かず、シミつかず、人畜無害
●南京虫、家ダニは水一〇〇倍にして一日數回噴霧により根絶します
●蠅衆當類の害虫驅除には二〇〇倍にす

見本一瓶二十錢小包郵送下記代理店へ送金爲替證書郵便切手にても可

非一瓶お買上の方に
●蠅取器、キャンプ、旅行、登山には最
●蚤駐工場、學校、病院、旅館、浴場、洗衣場、寫眞館、飲食店等に
●大日本蚊取會社臺灣支部

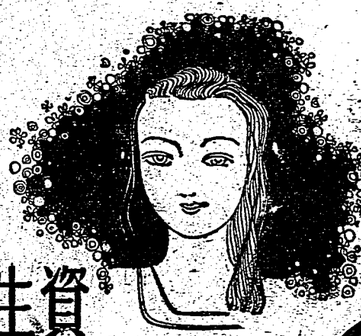
臺灣總代理店 臺南市 高島屋飯田支店

資源動員協力運動に われ等はどうすればよいか
九月號 主婦之友



農業を營む軍國未亡人
多角農業經營の道義工場
生産體制の道義工場
禁酒貯金四十萬円
世界情勢と日本
二人の指導者
心の故郷 綠の十字路
今井達夫
今ぞ一億國民心を合せ、時艱突破に邁進しよう!!
日本人口問題
日本の黎明
日本人の進むべき道
周佛海と母
新内閣と國民
東郷来訪
鯨と闘ふ男
梶野悳三
客間整二郎
二百十日前後
桐の樹蔭
市橋一宏
電話帳
蘭郁二郎
大津の道觀
青春二筋道
鹿島孝二
子母澤寛

液乳ビタミン



症膿化には 双球菌性
ンノアリトン
問題のスルフ ンチリピア

念性腑炎 急性蜂窩織炎 中耳炎 扁桃腺炎 産褥熱 敗血症

適劑を適症に用ひよ…と叫ばれ肺炎、淋疾、ムコイズス菌中耳炎等の双球菌性疾患の治療には双球菌に對して強殺菌力を發揮する日本最初のスルフアピリヂン!トリアノンが賞用される。

配劑三〇錠・一〇〇錠 各に粉末・注射液あり

田邊發賣品